



協力しながらアイスクリーム作り



にかほ市内の児童と記念撮影

雪遊びって楽しいね!!

～ 友好都市・大洗町児童が雪国体験～

2月15日、当市の友好都市である茨城県大洗町の児童11人と父兄9人が、雪国体験を目的に市営中山スキー場を訪れ、スノーフラッグ競技や雪上車体験、巨大かまくら作りなどに挑戦しました。

最初は慣れない雪と寒さに苦戦する姿もありましたが、にかほ市内から参加した児童や父兄と共に、意欲的に取り組みました。また、にかほ市自慢のタラ汁や、グループに分かれて作ったアイスクリームにも舌鼓をうち、五感をフルに活用し雪国を満喫しました。

一行は翌日、白瀬南極隊記念館などを見学し、にかほ市を後にしました。



雪上車に乗り込む大洗町児童

海外の食文化を味わう

～ 国際料理交流会～

2月15日、象潟構造改善センターで市内在住の海外出身者3名を講師に招き、料理をとおして交流する国際料理交流会が行われ、市民約60人が参加しました。

今回のメニューは、チャカラカとスタッフド・ポテト、餃子など5品目。「チャカラカはスパイシーな味つけの南アフリカ版ビーフシチュー。日本人の味覚にあうようにアレンジしました」と南アフリカ出身のジョイさん。参加者らは、作り方や材料を聞こうと英語で話しかけたり、調理後の食事会では、日本料理とはまた違った調理法や味付けに会話はずみしました。



英語と日本語で和気あいの厨房

響く、広がる、奏であう

～ 第8回バレンタインコンサート～

2月15日、にかほ市バレンタインコンサートが象潟公会堂を会場に行われ、市内音楽団体や個人など12組が参加しました。今回で8回目を迎えたこのイベントは、今年10月に開催される第29回国民文化祭・あきた2014応援事業と位置づけられ開催されました。

コンサートでは、クラシックや往年の名曲、人気アニメの主題歌など幅広い楽曲が演奏され、日頃の練習成果を存分に発揮していました。コンサートの最後には、参加者と来場者全員で、「ふるさとは今も変わらず」を合唱し、象潟公会堂の響きを堪能しました。



伸びやかな歌声がホール全体を包み込む

売れる商品づくりのために

～ 産学官交流プラザ～

ホテルエクセルキクスイで2月3日、秋田産学官ネットワークと秋田県の主催による第5回産学官交流プラザが開催され、関係者ら約80人が出席しました。

事例・研究成果等の発表で「タラしょっつるの開発と地域振興」と題し秋田県総合食品研究センター塚本研一氏が登壇。製造工程や技術のポイントなどを説明し、関係機関との連携や市内飲食店のメニュー開発などの取り組みを紹介しました。また、市外の方に買ってもらう地産外消、市に来てもらう地産来消のためにも、地元で愛されるご当地調味料に育てることが重要と語りました。



事業化に向け企業と大学、研究機関の連携促進

みんなでやればアツと言う間

～ 院内小学校雪寄せボランティア～

院内集落内で2月12日、院内小学校6年生44人による雪寄せボランティアが行われました。今年は、雪寄せ作業をする事が困難な世帯や、低学年が利用している学童保育施設の周辺などを担当しました。

児童らは、自宅から持参した雪寄せ器具を用い、クラスメイトと協力しながら手際よく作業。普段から雪寄せ作業に慣れているのか、敷地内の雪はアツと言う間になりました。天候が良かった事もあり近所の方々も作業に加わり「やっぱり人手があればいいな。来年も頼むな」などといった声が掛けられていました。



トラックの荷台に「よっこらせ！」

「上作、上作」の歓声上がる

～ 石持ち占い：横岡地区～

横岡地区の稲倉宇賀神社で2月15日、200年以上の伝統を持つ石持ち占いが行われました。初午の前日に行われる行事ですが、今年は日が早い(火早い)ため、次の午の日の前日に遅らせての開催となりました。

今年の講中8人は、子どもたちによる獅子舞の奉納後、狐の絵柄のついた杯でお神酒を飲み交わすと、しばしの宴会。程良く酔いが回った頃合いに石持ち占いが始まり、男石4kg、女石3kgを片手で持ち上げ豊作を祈願しました。力自慢が長年の占いで表面がつるつるになった石を持ち上げると「上作、上作」の声が上がりました。



表面がつるつるになった石を持ち上げ、豊作祈願